

## ●執筆者紹介

### 大窪 裕喜恵（おおくぼ ゆきえ）

保育研究会 HEART & EYE 代表

仙台市なかよし学園（知的障害児通園施設）園長、仙台市あおぞらホーム（母子通園施設）園長（兼務）

保育士、家族相談士

1974年（昭和49年）宮城県立保育士専門学院を卒業後、仙台市の保育所勤務を経て、2008年（平成20年）より現職

湯瀬 真知子（ゆぜ まちこ） 仙台市旭ヶ丘保育所長

外館 美貴子（そとだて みきこ） 仙台市熊ヶ根保育所長

村井 淑恵（むらい としえ） 仙台市沖野保育所長

菅原 郁栄（すがわら いくえ） 仙台市鶴巻保育所長

菅野 ルミ（かんの るみ） 仙台市上野山保育所長

鈴木 清子（すずき きよこ） 仙台市子供未来局子育て支援部保育課勤務

越後 いく子（えちご いくこ） 仙台市子供未来局子育て支援部保育課勤務

八巻 寛治（やまき かんじ） 仙台市立沖野東小学校教諭、仙台市嘱託社会教育主事  
上級教育カウンセラー、学級経営スーパーバイザー  
保育研究会 HEART & EYE アドバイザー

## 保育研究会HEART & EYE

仙台市の公立保育所の保育士有志が集まり、よりよい保育を目指す自主勉強会として発足。保育士として、「子どもの最善の利益とは、また子どもを保育する中で、今何が必要なのか」を考えるなかで、家族支援の重要性に気づき、家族援助論を学び始める。その一環として、保育士と保護者、また保護者どうしが子どもの育ちをともに考え合う機会として、保育園の懇談会に注目。保育現場で実践を重ねながら、「構成的グループ・エンカウンター」や「ロールプレイ」をはじめとする心理技法を学び、仙台市の保育士を中心に学びの輪を広げている。